

## 大谷先生を偲ぶ

朽津耕三

東京大学・長岡技術科学大学 名誉教授

平成 27 年 11 月 11 日

私は東大理学部化学科に 1988 年の春まで在職し、終りに近く「励起分子ダイナミクス」というタイトルで、文部省(当時)の特定研究を村田 好正さん・近藤 保さんなどと一緒にやったことがありました。そこで、高柳 和夫 先生・鈴木 洋先生・中村 宏樹 先生などをはじめ原子・分子衝突の実験的・理論的研究を活発に実行していたらっしゃいました多数の研究者の方々の懇切なお世話になりました。

このプロジェクトが終わった後も、私は大谷俊介先生と直接・間接に極めて親しく交流する機

会を得て、調布にも何回となくお招きを頂きました。先生のご厚誼を、今でも深く感謝しております。

なお私は、当時からチームプレーのスポーツ観戦が大好きでした。そこで、村田さんに早くから、大谷先生のサッカーの大試合での武勇伝を何度も伺っておりました。

大谷先生が生涯にわたって残して下さいました数々の計り知れないご遺徳を偲び、ご冥福を謹んでお祈り申し上げます。